

すぐそばにある小さな命

NPO法人 ねこの糸

毎年9月20日から26日は、動物の愛護や適正な飼養についての理解と関心を深める動物愛護週間。みなさんの周りにいて頻繁に見かける猫のこと、考えてみませんか。

殺処分になるはずだった保護猫の預りボランティア

編集部スタッフが「NPO法人ねこの糸」代表理事の村上由香里さん宅を訪れた日、和室に置かれたキャットケージのなかには3匹の子猫と1匹のお母さん猫がいました。村上さんがしつくと治療のために預かっている保護猫たちです。人の両手にすっぽり収まる子は生後1か月半くらい。ケージの扉を開けると、勢よく畳へとジャンプして走りまわり、元気な姿を見せてくれました。

カメラマンが向けるレンズに近寄る子、フラッシュやシャッター音に驚く子、猫じゃらしに飛びつく子など、好奇心があつたり臆病だったり性格の違いがよくわかります。村上さんの話を聞きながら、私たちは小さな命の息吹を感じていました。



保護猫とともに編集部スタッフを温かく迎えてくれた村上さん。「ねこの糸」メンバー70人のまともな役割として活動されています。

保護猫を譲り受ける新しい飼い主の条件

「20年ほど前から一人で猫に関するボランティア活動を続けていて、2016年に他の個人ボランティアとともにNPO法人を立ち上げました。およそ70人のメンバーで、『おうちの猫の飼い主さん探し』『子猫ふれあい教室』『啓発活動』をしています。全員が猫の幸せを願いながら、それぞれができることに取り組んでいます。『そう話す村上さんの傍に、ニャーニャーと柔らかな声で鳴く猫たちが集まっ

てきました。顎の下や背中を撫でてもらうれしそう。飼い主と飼い猫のように、互いを信じきっているのがわかります。

【おうちの猫の飼い主さん探し】は殺処分になるはずだった猫や捨て猫などを保護して、新しい飼い主を探す活動です。村上さんのようなボランティアが、子猫は1か月、成猫は2年ほど預かりながら、トイレの訓練、人との信頼関係を築けるように、人を噛まない、人の食事を食べないことを教えます。ホームページに顔写真や特徴などの個別情報を公開することで、年間150匹以上の猫が新しい飼い主に譲り渡されるそうです。

譲渡先には猫の生活環境を整えてもらう必要があるといえます。完全に室内飼いをし、不妊去勢の手術をさせる、生涯飼育をする。そのどれもが「ねこの糸」から保護猫を譲り受ける条件で、満たした人のみが飼い主となるのです。

生後3週間までは哺乳瓶でミルクを飲むという子猫たち。その愛らしさに気づいてもらおうと、園児を対象とした【子猫ふれあい教室】の開催もしています。「猫もご飯を食べるんだよ、うんちをするんだよ、と話すヒックリされちゃって。身近な動物として猫を知らない子がいるようです。でも、触れ合っているうちに、ミルクをもっと飲みたいみたい、疲れて眠りたいみたいって、



1. 夫子6匹をふくむ23匹の面影をみてきたお母さん・乳母代わりの猫。子猫にお乳をあげたり、毛づくろいをしてあげたりと優しい。2. 公園の野良猫はすぐに逃げる。猫カフェは年齢制限があるなど飼い猫がいない子どもにとっては親しむ機会が乏しい。【子猫ふれあい教室】に参加できたら、子猫の存在がぐっと身近なものに。3. 大人用の水飲みで水を飲む子猫。飲みにくいのかと思いが上手に飲んでます。4. 現在、村上さん宅には4匹の保護猫がいますが、預かりボランティアのみなさんでは40匹以上が保護されているそう。



猫の気持ちを察してくれるようになりませぬ」

村上さんは締めくくりに言葉として、必ず伝えていたことがあるといえます。喋れない猫の気持ちを理解しようとした子どもたちに、「友だちが嫌だと言わなくても嫌だと思ってる、寂しいと言わなくても寂しいと思ってる、そういう気持ちをわかってあげられるようになるよ」と。

教室を終えたあと、園の先生からは相手が言葉が発しなくても感じようとする心が園児に広がってきていると感想が寄せられたそう。子猫と触れ合ってもらえたうえ、子ども達の成長に繋がられたことが村上さんのよろこびとなったようです。

【啓発活動】の一つとして、毎年、「しあわせ元保護猫カレンダー」の制作・販売もしています。カレンダーに登場する12匹は、「ねこの糸」が保護して、新しい飼い主に譲渡した猫。写真コンテストに応募してもらったなかから入賞作品を選ぶために飼い主はベスト12を目指して、1年間、愛猫の姿を撮影しているといえます。

また、正しい猫の飼い方や引き取り詐欺についての情報を広く知ってもらうためのイベントを企画することもあろう。9月にはおおい動物愛護センター(大分市廻栖野)のイベントに他団体と

もに参加予定。ボランティア活動の内容を直接聞ける機会となりそうです。

人と猫が幸せに暮らすため私たちにできることは?

村上さんたちは「TNR(Tob Neuter Return)」と【地域猫】の活動にも関わりをもっています。

「ねこの糸」が行うのは、飼い主のいない猫を捕獲して不妊去勢手術を行い、元の場所に戻すこと。【地域猫】のときはそれに加えて、地域の餌やりさんに協力してもらい、継続的な食事の世話(決められた場所・時間に与えて、食べ終えたときには容器を回収する)とトイレを設置してもらいます。自治体によってはボランティアグループに捕獲器の貸し出しや手術費用の一部を助成し、地域の人たちと猫が共生できるよう制度化しているそうです。

私たちと同じ生活空間にいる猫。家庭で飼っている人にとってはかけがえのない存在だけれど、ゴミを漁ったり庭を汚したり迷惑な行為に困っている人もいます。人と猫が幸せに暮らしている社会を思い描いてみませんか。情報を得て考え方が変わること、少しの工夫で改善できることもあります。あなただが差し伸べる手で、小さな命が守られるかもしれません。

NPO法人 ねこの糸 主な活動

一匹でも多くの猫を救いたいと願い、メンバー一丸となって活動を続けています!



譲渡会

猫を飼いたいと思っている人と保護猫が直接触れ合うことで、よりたくさんの猫たちに家族が見つかります。興味のある方はぜひご参加ください。譲渡会開催会場も随時募集中。



写真展

元保護猫だって、こんなに懐かし可愛いんです!新しい飼い主さんが撮影した元保護猫ちゃんたちの幸せ写真のコンテスト。上位入賞作品はカレンダーになります。

しあわせ元保護猫カレンダーをプレゼント!



2019年4月～2020年3月までのミニカレンダーです

抽選で10名様にプレゼント

てくてくぶらす編集部宛に
①氏名②住所③電話番号④今回の特集についての感想を明記の上、「猫カレンダー希望」と書いてお送りください。

【応募先】〒875-0041 臼杵市大字臼杵字洲崎72-91 てくてくぶらす編集部「猫カレンダー」係

【締切】令和元年9月10日 消印有効

NPO法人 ねこの糸 email: neconoito@gmail.com

※お問い合わせはメールのみとなります。猫の引き取りはしていません。